平成30年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第3回学校運営協議会 報告

1. 日時·場所	亚	
2. 出席者	平成31年2月7日(木)午前10時00分から12時00分・交野支援学校四條畷校准校長室	
	【学校協議会委員】	
	高塚良則	元大阪府立学校長
	田中彰	四條畷市砂自治会長
	杉本 匡子	(社)るうてるホーム通所事業部長
	加藤美朗	関西福祉科学大学准教授
	北口 信二	北河内障害者就労・生活支援センター長
	西田 由紀子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長
	【事務局】	
	准校長	赤木 瑞枝
	教頭	河上 鉄男
	課長補佐	香西 朝夫
	首席·中学部主事	溝部 晃輔
	首席·高等部主事	村上 智則
	傍聴希望者なし	
3. 次第	(1)准校長挨拶(赤木准校長)	
	(2)授業アンケートおよび学校自己診断アンケートについて	
	(3)「平成30年度学校経営計画及び学校評価」達成状況について	
	(4)「平成31年度学校経営計画及び学校評価」(案)について	
	(5)その他	
4. 報告	下授業アンケートおよび学校自己診断アンケート」について 教頭より 2 つのアンケートについて、概要の説明と特徴的な項目について説明があった。保護者・ 生徒アンケートからは、授業をはじめ学校の方針について概ね好評価をいただいていることが窺え る。反面、「防災」「学校の施設設備」と、教職員の提出率の低さが問題点として挙げられる。授業 アンケートについては生徒の呼名の仕方について、丁寧にするようとの意見があった。これは年間 を通じて課題にしてきたことで、全教職員で共有し、改善していく。 H30年度学校経営計画総括について 権校長より各項目について説明を行った。進路では就職希望者は少なかったが、全体としてはほぼ希望通りとなった。居住地校交流については引き続き行っていく。心と身体の学習については学校としてのマトリックスを作成したかったが未到達。その他、教員のスキルアップのための授業見学、ICT教育環境の改善、災害対応についても少し課題が残るので次年度に向けて継続的に取り組んでいきたい。 H31年度学校経営計画(案)について 推校長より新たに設けた5つの重点項目、および具体的な取り組みについて説明を行った。特に生徒会活動の充実、心と身体の学習の系統的な学習表の作成、個人情報管理の徹底、PTAと連携した防災の取り組み、図書環境の充実、初任をはじめ経験の浅い教員へのサポート体制の充実などを述べた。地域へ出て行くことやまた2020年度より校区割りが変更され、四條畷校としては生徒数が増大することが予想されることから、そちらへの対応も次年度中の課題となる。	

委員よりの意見

高塚会長より、ホームページの充実の必要性、教員の働き方改革、地域とのつながりや教職員の研修といったことについて助言いただいた。また次年度の学校経営計画については、昨年度と比べ小項目が増えている点に触れ、もう少し項目を絞り、各教員が何をすればいいか分かりやすくするとよいとの助言をいただいた。

杉本委員より、本校からは実習でお伺いしていることもあり、より活発な交流ができればと言う話が 出され、施設で行っているお祭り等での販売学習も可能である旨の提案をいただいた。介護の業 界では近年人材不足が続いており、支援学校の卒業生も進路先の一つとして興味を持っていた だきたいとのことであった。

加藤委員からは、学校教育計画について近隣地域との交流が具体的に盛り込まれたことを評価いただいた反面、全体として取り組みの項目数が増えていることから、教職員の過重負担にならないようにとの助言をいただいた。

田中委員よりは、災害時の対応について、学校で作成しているマニュアルをぜひ四條畷市とも共有し、今後それをもとにより連携を深めていけるようにとの提案をいただいた。学校経営計画では、生徒のコミュニケーション力や自己決定の力について、社会に出たときのことを考えて教育が展開されていることがよく理解できた。この力が学校内だけで役立つ力とならないよう、今後も取り組みを進めてもらいたいとの意見をいただいた。

北口委員からは自身の職場で労務管理をされている視点から、職員の長時間労働について心配の声を寄せていただいた。業務によってはアウトソーシングができないかとの考え方も示された。

西田委員からは、居住地校交流について、支援学校からの進学者についてももっと参加しやすい 工夫や環境、また地域への周知も行って欲しいとの要望をいただいた。また今般の災害時の対応 については他校との比較も交えながら、本校では比較的対応が良かった旨の評価をいただいた。 また職員の業務量削減に向け、PTA としても協力できることがあれば言ってほしいとの声をいただいた。

最後に高塚会長から、学校経営計画について、優先順位をつけうまく職員のモチベーションを上げ、いい組織となるようにとの助言をいただいた。

その他